

# 手話言語の条例制定

先の議会においては、徹底審議・可決された平成28年度予算や他のさまざまな重要議案の中の一つ「京都市手話言語がたなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」も制定されました。

## 「1億総活躍社会」のさらなる高みへ！

日本の手話は、京都において明治11年に開設された日本初の聴覚・視覚障害児

の教育機関「京都盲啞院」に、各地から集まったろう児の集団の中で成立したと

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース



平成28年(2016)3月31日発行  
■発行人/井上与一郎  
■編集委員/田中明秀、棕田隆知、しまもと京司  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.52



言われています。その後、我が国では、海外から伝わった「口話法」(相手の口の形や動きを見て話を理解する技術)の普及が昭和の初期から基本方針とされ、「手話」(手や指体などの動きや顔の表情を使う)は禁止されてきました。しかしながら、ろう者をはじめ、それを必要とする人にとって手話は、生活を営むための不可欠な意思疎通の手段として用いられ、誤った偏見を受けることがありながらも、根強く大切に守られてきた歴史があります。近年、これらを根本から見直す研究や理解が進み、手話は音声言語と変わらない独自の文法を持つ独

右の女性は「お会いしましょう」の部分、左の男性は「ありがとう」を手話で表現しています。

この状況の中、京都市会では一昨年「手話言語法」制定を求める意見書を全会一致により議決するとともに、自由民主党京都市

### 環境改善に向け 他党派呼びかけ

立言語として、最も新しく発生した言語である」と言われるに至っています。



## パリ市長、市会本会議場へ



アンヌ・イダルゴ パリ市長を出迎える津田議長と門川市長



本会議場であいさつするアンヌ・イダルゴ パリ市長



### 京都発祥の手話で 豊かな共生社会を

私たちが京都発祥の手話、

それによる自由なコミュニケーションが保障される社会の構築が求められている。今、国際観光都市でもあり、世界文化自由都市宣言を掲げる京都においては、手話に対する理解の促進や日常的に使える環境を整え、手話が、市民や観光旅行者を含む全ての人の心をつなぐで相互に人格と個性を尊重することができるとともに、共生社会を実現することが目指されています。

指されます。私たちは、この条例の制定を機に、国語や英語などのように、教育現場や企業での手話学習や教員・手話通訳者の養成等々によって、ろう者だけでなく聴覚障害者全体のコミュニケーションにもさらに道が開かれるとともに、より一層、誰もが参加・活躍できる社会の実現を目指すことができると願っています。

京都市にとって最も古い姉妹都市であり、2年後には締結60周年を迎えるパリのアンヌ・イダルゴ市長が3月2日、京都市を訪れ、市議会では外国の首長として初めてのスピーチをされました。「昨年11月の同時多発テロ事件に対して示された京都市からの哀悼と友情の意に胸が熱くなった。」と述べられるとともに、環境問題に関するCOPでは「京都議定書」と「パリ協定」が採択された自治体同士での連携の重要性や、芸術・文化、安心安全のまちづくりなどにおいて、両市がともに協力して発展していく決意などをお聞きし、市会本会議場・満場の中でしっかりと確認されました。



# 「子どもはぐくみ局」創設へ

## 子育て支援の中核に 市長公約実現に向け体制整備

橋村芳和議員 (伏見区)

橋村芳和議員 (質問) 少子化対策や子育てに関する業務を総合的に担う『子どもはぐくみ局』創設に向けた、市長のお考えをお聞かせください。  
門川大作市長 (答弁) 私は、かねてから「子育て支援都市・京都」の中核を担う新たな局の構想を描いてまいり

### 橋村芳和議員の質疑項目

- 京都市長選挙の今後の市政運営について
- 市長公約の実現に向けた予算の確保と執行体制の整備について
- 経済の再生と雇用の創出について
- 府市協調による二重行政解消の取組について
- 近畿メガリージョン構想の実現について
- 南部クリーンセンターの建替えと環境教育基本指針について
- 東部クリーンセンター跡地の活用について(要望)



子育て・教育環境の日本一に向けて

ました。この新局が真にその機能を発揮するためには、本庁組織の融合にとどまらず、市民に身近な区役所における複数の子ども関連窓口の一元化など、大規模な組織の再編が必要であります。

## 代表質疑

2月市会

(2月24日～3月25日)

庁内検討チームを設け、市会の皆様や子育て支援に関わる各関係団体等からの御意見も伺いながら、万全の準備を整えたうえで、平成29年度当初に設置いたします。

### 近畿メガリージョン構想の牽引役へ

橋村芳和議員 (質問) 東京一極集中の是正と日本の強靱化につながる近畿メガリージョンの実現に向けて、市長のお考えをお聞かせください。  
門川大作市長 (答弁) 京都府や経済界等とのオール京都で、また、関西広域連合など

### 南部CS建替え環境教育の場へ

橋村芳和議員 (質問) 南部クリーンセンター(伏見区)の建替えと環境教育基本指針

についてお聞かせください。  
塚本穂副市長 (答弁) 南部クリーンセンターに併設する環境学習施設につきまして、横大路地域の皆様の熱い思いにお応えし、これまでのクリーンセンターのイメージを一新させ、より多くの方々

# 地下鉄増客5万人目前に

## 歩くまち京都推進 市バスは更なる利便性向上へ

小林正明議員 (北区)

小林正明議員 (質問) 今後の市バス・地下鉄事業について、更なる経営健全化に向けた新たな数値目標の設定等、事業展開の方向性についてお伺いします。  
門川大作市長 (答弁) 地下鉄事業では、まずは1日5万人増客目標を前倒しで達成し、

にお越しいただくよう、地域の新たなランドマークとなる展望台を含め、楽しみながら世界最先端の環境技術やごみ減量などについて学べる、また、市民の皆様が親しまれる施設として、しっかりと整備に取り組んでまいります。

環境教育基本指針につきましては、環境学習を、家庭、学校、職場、地域等の幅広い場で、ライフステージに応じて、系統的かつ、統合的に推進するための指針として、来年度に策定してまいります。

課題に取り組み、少子高齢化・人口減少に歯止めをかけたいかなばなりません。28年度を「北部山間地域移住促進元年」とする決意のもと、移住相談窓口の開設や移住促進に取り組む地域団体への助成「北部山間かがやき隊員」3名の導入等、地域の皆さまとともに、全国のモデルとなる振興策を実施してまいります。

### 北消防署の移転整備に具体策を

小林正明議員 (質問) 北区の防災・安心安全の拠点でありながら、京都市内で一番古い消防署となっている北消防署の移転整備は喫緊の課題となっております。移転候補地選定の時期が来ていると思いますが、具体案を示していただきたいと思

小笠原憲一副市長 (答弁) 北区内の消防整備のバランス等を考慮し、移転候補地を検討した結果、区内の効果的な消防活動が可能となる場所に位置する大宮交通公園の敷地の一部を有力な移転候補地として検討を進めたいと考えており、今後、地域住民の皆さまのご意見をしっかりと聞きながら、移転整備に取り組んでまいります。



「移住促進元年」として取り組む北部山間地域

小林正明議員 (質問) 北部山間地域を真剣になって活性化させていくならば、オール京都市での取組を、それぞれの課題に関連させながら実施

### オール京都市で山間地域活性化

小林正明議員 (質問) 北部山間地域を真剣になって活性化させていくならば、オール京都市での取組を、それぞれの課題に関連させながら実施



# 若年層の投票率アップへ

## 白票も一つの意思

### HPにて白票数開示へ

中村三之助議員 (上京区)

中村三之助議員 (質問) 現在白紙投票は、選挙結果の第一報では該当者以外の名前や複数の名前を書いたりした無効票と全て同様の扱いがされていますが、白票でも必ず投票するという行為が大切です。白票も意思表示の一つとし、結果発表に白票数をせめて後日でもインターネット等で世間に公表発信することで若者の投票率は必ず徐々に上がって行くと考えます。

吉川昌弘選挙管理委員会事務局長 (答弁) これまで、選挙後に作成している選挙結果をまとめた冊子の中で種類別

### 中村三之助議員の質疑項目

- 18歳選挙権実施に伴う学校対応及び白票の意義について
- 防災意識の向上に向けた取組について
- 京都の文化継承について
- 小中学校の夏休みなど休業日について
- 「民泊」の活用について
- 京都動物愛護センターにおけるソフト面の充実を (要望)
- 京都御苑周辺道路の歩行空間改善のために御苑側水路の活用を (要望)
- 薬物乱用防止対策の強化を (要望)

中村三之助議員 (質問) 防災の意識喚起は継続して常に行っておかなければなりません。自主防災意識、地域の自助意識の醸成の観点から、15年前に私が提案し、実現致しまし



平成23年に全戸配布された「地域の集合場所シール」

### 防災意識高める 関連グッズ活用

に無効投票数を公表してありますが、今後は冊子が出来上がるまでに、本市ホームページ上において選挙結果を公表する際、白紙投票を含む無効投票数の内訳を提示いたします。

た全小学校・区役所における防災関連グッズの現物の常設展示が一過性になっていくので、再度充実し展示をしていただきたい。また、門川市長のご英断で実現して頂いた災害時の「地域の集合場所シール」は、昨今の災害から、水災害時・土砂災害時の避難基準を明示したシールも今後新たに必要となります。さらに移住また転居家庭にもシールが行き渡る仕組みが必要だと思いますが、いかがですか。

門川大作市長 (答弁) 防災関連グッズの現物展示は、ご提案の説明パネルの作成・設置なども継続性のあ

付を含め効果的な手法を検討いたします。

### 小・中休業日の 日程統一を検討

中村三之助議員 (質問) 小

中学校の夏休みなど休業日の日程は行政区内でもばらついており、多くの青少年団体のキャンプや練習日などの日程調整に支障をきたしています。調整に支障をきたしています。調整に支障をきたしています。調整に支障をきたしています。

市の小中学校の休業日程は統一していただきたいと思いましたが、いかがですか。

在田正秀教育長 (答弁) 来年度、中学校区内の小中学校の休業日の統一に向け検討いた

します。また、今後は小中学校の休業日の統一を含めた学校運営全体の在り方について、小・中学校校長会とも連携して検討してまいります。

# 市民への真の経済効果を

## 世界の観光都市京都として

### まだまだ努力を！京都のインバウンド戦略

しまもと京司議員 (南区)

しまもと京司議員 (質問)

観光政策や景観保全、激増する来客対応等に協力・理解・税負担もしている私たち京都市民のためにこそ観光による波及効果が実感できるように、爆買いなどよりも「京都経済に」しっかりとお金を落とし、もらえる多様・高質な観光

コンテンツの構築と、円安やバブル要因によるアジア系増客に比べて格段に少なかった「安定的富裕層」：欧州・オセアニア・北米系増客をターゲットとしたマーケティング機能の充実で、国を牽引する真の観光政策を展開すべきと考えますがいかがでしょうか。

門川大作市長 (答弁) 来年度からは富裕層の誘致と「日本・京都」の確固たるブラ

### 四年間の訴え 市民の財産に

しまもと京司議員 (質問)

「京都市民の税金での巨額公共事業などは、他都市の大手企業よりも市内中小企業への発注で、地域内の循環経済を活性化させ、全市民生活の潤いをもたせたい」という私の数年来の訴えが昨年11月制定の「京都市公契約基本条例」の中に結実されました。この理念と目的を実行性あるものとするための庁内技術系体制の増強と、デザインビルドやPFIといった入札や整備手法の改善方針をお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) 技術職独自の人材育成計画や、設計施工を一貫して担当する組

### しまもと京司議員の質疑項目

- 日本を先導する観光インバウンド政策と市民生活への経済効果
- 公契約基本条例の実効性と庁内技術系体制の増強、デザインビルドやPFIの改善
- 地元・都市農業の強化支援と新しい森林業施策について
- 人権擁護委員体制の充実と、虐待やいじめ・DV等の撲滅
- JR向日駅の東口整備と向日町上鳥羽線道路の展望

### TPPに打ち勝つ 農林業振興を

しまもと京司議員 (質問)

厳しい中にもチャンスのある京都市農業の強みと利点を生かし、京野菜のブランド強化と消費啓発、若手農家や後継者課題等への支援と、新たな府民税を活用した森林・林業の長期的循環・保全施策が必要と思えますがいかがでしょうか。

門川大作市長 (答弁) 自立農業者の支援・育成、生産施設の助成に加え、飲食・観光業とも連携した京野菜の発信・新開発や6次産業化にも努めるとともに、森林環境の整備・景観保全・市内産木材の活用促進も図ってまいります。



京都文化の奥深さをじっくりと堪能していただく外国人観光客を



**【豊かさ実感・くらしに安心・未来への責任】**  
 私たちのくらしや福祉、安心安全のまちづくりや、子育て、教育等々市民生活に直結する大切な28年度予算について自民党議員団20名に聞きました。



**小林 正明**  
(北区)

京都市の財政は相も変わらず脆弱な状況にあります。新税も含めた収入源の導入が急務です。そんな中で、交通局はバス事業の好調な状況にあり、後は地下鉄の一層の奮起が必要です。



**山本 恵一**  
(北区)

公営企業に対し、地下鉄は経営健全化団体からの脱却。市バスは「自立経営」を堅持した上で、利便性向上の取組。上下水道局には老朽化した水道管更新や雨水幹線の整備等の推進に審議を重ねた。



**中村三之助**  
(上京区)

産業観光局での質疑で「伝統産業の日」関連事業は、普及啓発イベントを中心とした取組から、業界の売上げ向上に繋がる事業に重点を移し、年間通しての展開を行う事に期待している。



**寺田かずひろ**  
(上京区)

健康寿命延伸や1才児への保育士加配など昨年の選挙で私がお約束した政策が具体的に形になりました。今後も皆様の声を市政に反映できる様頑張りますので、よろしくお願致します。



**津田 大三**  
(中京区)

議長として初めての予算。市長3期目スタートの予算であると同時に、文化庁の移転や北陸新幹線延伸など京都百年の計に大きく関わる大切な予算。大きな責任を感じています。



**加藤 昌洋**  
(中京区)

保育園の増設や新設、小中一貫校の新設等が予算案に盛り込まれ、子どもたちにとって何が好ましいかという議論を致しました。今後も将来世代に責任を持つ議論を進めます。



**平山たかお**  
(東山区)

全体的に地方創生関連予算が目立つ編成でありました。地方創生の機会を契機に、今こそ少子高齢人口減少社会へ挑戦する新たなモデルと本市がなるように議論をさせて頂きました。



**富 きくお**  
(山科区)

門川市長の三期目最初の予算審議。社会福祉費が初めて三千億円を突破、一般会計の四割以上を占める。急激に進む少子高齢に対応する為、更なる財政構造改革で財源確保が急務。

# 予算審議を振り返って

自民党市会議員団は市民生活の向上のため厳しい議論を行いました



**吉井あきら**  
(山科区)

福祉・教育の予算を確保しながら何よりも市民の皆さんの生命、財産を守る為の予算になるよう質疑の中で厳しく指摘して参りました。これからもチェック機能を働かせて参ります。



**下村あきら**  
(下京区)

今回の予算審議では、外国で財政再建に使った政策評価手法。「それはみんなの役に立ちますか」「厳しい財政状況でもやる意味がありますか」等を参考に、厳しい財政下でも必要な事業を議論。



**椋田 隆知**  
(南区)

市民のいのちとくらしを守り、住みやすいまちをつくり、ひとを育てるためには、財源が当然必要です。歳出削減だけでなく、市有財産の活用や税源の精査等、歳入増に努めるべきです。



**しまもと京司**  
(南区)

市の観光政策や景観・街並み・看板・高さ規制、農林・交通施策、そして巨額の公共事業等に税負担と協力・理解をしている私たちが全京都市民への経済効果と還元方策を徹底議論。



**井上与一郎**  
(右京区)

市長選挙公約である皆様のいのち・暮らしを守り、安心安全なまちづくりを推進する為には本市の脆弱な財政改善が急務です。更なる財政構造改革や新税の検討等で財政確保が重要です。



**田中たかのり**  
(右京区)

住民(ひと)づくり(人財育成)・地域(まち)づくり(コミュニティ形成)・未来(あす)づくり(好循環社会)の観点から予算の効果を実感頂けるよう、審議を致しました。



**森田 守**  
(右京区)

京都版地方創生「京都創生」を市民参加のもと推進し、地域経済の活性化、子育て環境の充実、世界の文化首都・京都を実現する為の力強い予算です。



**田中 明秀**  
(西京区)

門川市政三期目の初年度予算として、その方向性が示されると共に、好調な観光をどのように市民サービスにつなげていくのか。新税の検討も含めて今後議論してまいります。



**西村 義直**  
(西京区)

一四七万京都市民の生活を守り、発展につながる予算となるよう多岐に亘る項目について審議が行われましたが、より良い市政の実現のため皆様のご意見・ご要望をお寄せください。



**繁 隆夫**  
(伏見区)

防災・減災対策の強化と安心安全のまちづくりについても、いのちを守る橋りよう健全化プログラムの推進や水災害対策、民間住宅の耐震化対策など、力強く取り組む予算です。



**橋村 芳和**  
(伏見区)

環境や文化を中心に、お預かりした税金が活きる予算になっているかを厳しく質疑。良い政策も説明不足では市民理解は得られません。市職員「伝える力」の向上を強く求めました。



**みちはた弘之**  
(伏見区)

予算特別委員会では消防、交通、上下水道局に関する予算を審議し、消防団員の加入促進、周辺地域のバス待ち環境向上、雨水幹線整備推進等に真摯に取り組みました。

**皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい**



〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 自民党京都市議員団  
 jimin3@nifty.com FAX.257-3091